

# 13 健康づくりの推進

福井県では、「第3次元気な福井の健康づくり応援計画(平成25年3月改定)」および「福井県がん対策推進基本計画(平成25年3月改定)」を策定し、若い世代からの健康づくり施策を重点的に展開しています。

## 1 がん予防推進

受診率アップに向けて、母の日、父の日などの記念日にショッピングセンター等で、県内一斉にキャンペーンを実施しています。さらに、平成26年度からは「地域がん検診受診率向上対策協議会」を設置し、地域保健と職域保健の関係機関が情報共有を図り、がん検診等の検診事業や健康づくりに関する体制についての検討を深めています。

表1 平成27年度がん検診普及啓発キャンペーン

月 日	内容	場所	備考	参加者数 (人)
5月10日(日)	「母の日」キャンペーン (休日レディースがん検診同時実施、子宮頸・乳がん等検診受診の啓発)	ラブリー・パートナー・エルパ	・グリーティングカード記入 ・パネルおよび色紙展示 ・乳がん視触診モデル展示	200
6月21日(日)	「父の日」キャンペーン (胃・肺・大腸がん等検診受診の啓発)	アピタ福井大和田店	・普及啓発チラシ・粗品配布 ・管内市町検診日程表配布	200
9月13日(日)	がん検診受診率50%達成集中キャンペーン	福井医療短期大学	がんおよびこころの健康 ・パネルおよび色紙展示 ・乳がん視触診モデル展示 ・パンフレット配布	70
10月10日(土) 10月11日(日)	がん検診受診率50%達成集中キャンペーン	福井工業大学	がんおよびこころの健康 ・パネルおよび色紙展示 ・乳がん視触診モデル展示 ・パンフレット配布	350
10月17日(土)	がん検診受診率50%達成集中キャンペーン	仁愛女子短期大学	がんおよびこころの健康 ・パネルおよび色紙展示 ・乳がん視触診モデル展示 ・パンフレット配布	400

表2 平成27年度 地域がん検診受診率向上対策協議会

月 日	内容	委員構成	場所
8月27日(木)	グループ協議 ・大腸がん検査キットを提出しやすい仕組みについて ・企業におけるがん検診の取組促進について ・地域での受診勧奨について	福井市医師会、 福井第一医師会、 検診機関、商工会、 管内市町がん検診担当課	当センター 3階大会議室

## 2 禁煙推進

世界保健機関(WHO)が定めた「世界禁煙デー」の5月31日を中心に、街頭で禁煙キャンペーンを開催しています。さらに、未成年者の喫煙防止対策として、地域の教育機関へ出向いて普及啓発事業を行っています。また、事業所については、経営者の理解・協力を求めながら禁煙の取組みを推進しています。

表3 平成27年度 禁煙キャンペーン

月 日	備考	場所	参加者数(人)
5月30日(金)	「世界禁煙デー」および禁煙週間に関するキャンペーン(県健康増進課および協会けんぽと合同実施) ・パンフレットの配布	JR 福井駅 西口広場	700
5月29日(金) 5月30日(土) 5月31日(日)	・がん検診、心の健康、たばこに関するパネル展示やパンフレット配布 ・スモーカーライザーによる呼気CO測定	福井大学	400

## 3 運動推進

平成30年国体に向けて県民の健康づくりを応援するために、事業所対象に働き盛り世代の健康づくりおよび冬場の運動不足解消を目的に「ラジオ体操インストラクター派遣事業」を実施し、管内では14事業所等に実施しました。

また、県民の健康づくり機運をさらに盛り上げるために平成27年度から「わがまち健康づくり応援事業」を創設し、市町の健康づくりを支援しています。

#### 4 働き盛り世代へのアプローチ

家庭や社会への影響も大きい働き盛り世代に重点を置き、健康教育など普及啓発活動を行っています。また、生活習慣病の発症予防や対策として、健康づくり関連事業が効果的に行われるよう、「地域職域連携推進2次医療圏等協議会」を設置し、地域の職域・保健・医療関係者で情報および意見交換会を行っています。

**表4 平成27年度 福井地域職域連携推進2次医療圏等協議会**

月 日	内容	委員構成	場所
2月17日(水)	・地域・職域における運動の現状把握と推進について情報交換・意見交換 ・ラジオ体操体験等	検診機関、商工会、企業健康保険組合、管内市町保健担当課および国保担当課	福井市保健センター 3階会議室

**表5 平成27年度 若い世代から働く世代に向けた啓発普及活動**

月 日	内容	場所	参加者数(人)
7月5日(日)	【健康フェアふくい】 ・乳がん視触診モデル・パネル展示 ・がんに関するパンフレット配布	福井市駅前電車通り	515
10月10日(土) 10月11日(日)	・栄養に関するパネル展示	福井県立大学	100

**表6 平成27年度 地域住民を対象とした健康教育**

月 日	対象者	内容 (講師職種)	参加者数(人)
6月9日(火)	あたご地区社協連絡会	熱中症を防ぐには(保健師)	20
11月19日(木)	福井市シルバー人材センター西部ブロック	健康寿命を延ばして生涯現役(保健師) 正しいラジオ体操 (1級ラジオ体操インストラクター)	33

# 14 栄養改善指導

県では、国の「健康日本21(第2次)」の推進を踏まえ、平成25年3月に「第3次元気な福井の健康づくり応援計画」を策定し、健康づくりのための食生活改善、ヘルシーメニューの提供に取り組む飲食店や総菜販売店への支援等、食環境の面からも適切な食生活の推進を図っています。

## 1 食生活・栄養管理支援事業

給食施設の健康・栄養管理責任者へのスキルアップを目的とした研修や情報提供を行い、利用者の健康増進や栄養ケアの向上を推進しています。

また、規模の大きな特定給食施設を中心に巡回指導を行い、適切な栄養管理の実施および管理栄養士・栄養士の配置を推進しています。

表1 平成27年度 食生活・栄養管理研修会実施状況

月 日	内容	参加者数(人)
7月1日(水)、7月3日(金)	栄養管理推進研修会	108
8月21日(金)、9月9日(水)	給食管理技術研修	48

表2 平成27年度 給食施設巡回指導実施状況

	学校	病院	介護老人保健施設	老人福祉施設	児童福祉施設	社会福祉施設	その他の施設	計
特定給食施設	34	20	1	11	40	0	7	113
その他の給食施設	11	7	0	1	26	1	5	51
計	45	27	1	12	66	1	12	164

## 2 食品の栄養成分表示等の推進

平成27年4月に食品表示法が施行されたことから、健康福祉センター(健康増進課)では、栄養成分表示の相談窓口を開設し、事業者の取り組みを支援するための指導助言を行っています。また、健康増進法に基づく虚偽誇大広告等についても指導助言を行っています。

表3 平成27年度 栄養成分表示および虚偽誇大広告等相談状況

食品表示法(栄養成分表示等)	健康増進法(虚偽誇大広告等)	計
45	4	49

### 3 「ふくい健幸美食」による食環境の整備

福井の豊富な食材・特産品を活かし、低カロリー・低塩分で野菜を多く使った認証メニューである「ふくい健幸美食」を、飲食店やスーパー等に普及させることにより、外食・中食(調理されたものを持ち帰り家で食べることも)でも健康に配慮した食事ができる食環境の整備を図っています。

平成27年度は、管内で飲食店30店舗、惣菜店42店舗が認証を受けました。

### 4 地域の健康づくりリーダー支援

地域の健康づくり活動(食事バランスガイドの普及や郷土料理、行事食、食文化の継承など)を行っている食生活改善推進員の活動を支援しています。

表5 食生活改善推進員状況 (平成28年3月31日現在)

	会員数(人)
福井市	127
永平寺町	71
管内	198

表6 平成27年度 食生活改善推進員養成講座状況

	回数	参加者数(人)
研修会(福井市)	4	23

### 5 管理栄養士・栄養士申請

栄養士法に基づき管理栄養士および栄養士の免許申請事務を行っています。

表7 平成27年度 栄養士等免許申請状況

	栄養士免許	管理栄養士免許
件数	50	54

# 15 精神保健福祉

平成7年に制定された精神保健福祉法に基づき、精神障害者の早期治療と社会参加の促進を図るとともに、地域住民の精神的健康の保持増進を図ることを目的に事業を実施しています。

表1 精神保健福祉の動向

(平成28年3月31日現在)

	入院			通院 (H27.3月 1か月)			自立支援 受給者数	精神障害者 保健福祉 手帳交付数
	男	女	合計	男	女	合計		
福井市	243	312	555	4,413	5,344	9,757	3,979	1,961
永平寺町	14	22	36	240	313	553	206	115
管内	257	334	591	4,653	5,657	10,310	4,185	2,076
福井県	894	1,042	1,936	12,699	15,590	28,289	10,881	5,469

## 1 精神保健福祉法に基づく診察・保護申請

精神保健福祉法第22～26条の規定に基づく通報に対応し、必要に応じて入院措置等を行います。近年、通報件数は増加傾向にあり、また精神科疾患は多様化しているため、通報対応は複雑で困難を伴うことが多く、専門性の高い対応が求められています。

表2 通報・保護申請状況

年度		申請・通報状況						処理状況		
		一般 申請	警察官 通報	検察官 通報	矯正 施設長	病院 管理者	合計	措置 入院	措置 不要	合計
管内	26	4	44	2	10	1	61	20	41	61
	27	11	67	8	10	0	96	38	58	96
福井県	27	18	128	13	20	0	179	63	116	179

## 2 心の健康に関する相談

### (1)精神保健相談

心の健康や受診についての相談、社会復帰相談等のさまざまな精神に関する問題に対して、精神科医、保健師が電話や面接、訪問による相談に応じています。

精神科嘱託医による相談：毎月第1・3木曜日午後 予約制

保健師による相談：随時

表3 精神保健相談状況(延べ件数)

	26年度	27年度
嘱託医による相談	26	26
保健師による相談	976	1247

## (2)悩みごと総合相談会の開催

平成24年度から、一般住民が身近な地域で専門的かつ総合的な相談を受けることができるように相談会を実施しています。福井地域自殺予防対策協議会や専門家・関係機関が協働し、相談に対応しています。

表4 平成27年度 悩みごと総合相談会実施状況

月 日	事業名	参加者数(人)
9月12日(土)	第1回悩みごと総合相談会	13
3月5日(土)	第2回悩みごと総合相談会	17

## 3 普及啓発活動

### (1)自殺予防に関する研修会等の開催

自殺や精神疾患に対する正しい知識を普及啓発することを目的に、研修会等を開催しました。

表5 平成27年度 自殺予防に関する研修会実施状況

月 日	内容	参加者数(人)
12月2日(水)	管内理美容師むけの ゲートキーパーフォローアップ研修会 講師：公益財団法人 松原病院 五十川早苗氏	46

### (2)思春期保健研修会の開催への支援

思春期に起こりやすい心の病気について、地域精神保健福祉業務連絡会や、福井地域自殺予防対策協議会と共催で、学校関係者等を対象とした研修会等を開催しました。

**表6 平成27年度 思春期保健研修会実施状況**

月 日	内容	参加者数(人)
12月8日(火)	思春期のこころの健康に関する研修会 講師:福井厚生病院 杉坂夏子 氏	47

**(3)わかりやすい心の健康講座の開催支援**

精神障害についての正しい知識の普及や精神障害に対する理解の促進を図るために、地域精神保健福祉業務連絡会が主催する講座の開催を支援しました。

**表7 平成27年度 わかりやすい心の健康講座実施状況**

月 日	内容	参加者数(人)
10月23日(金)	心の病気を理解しよう 講師:県立大学 大森晶夫氏	275
10月30日(金)	備えあれば憂いあり 講師:心理相談室アシスト 岡本克己氏	
11月6日(金)	心を病んだ方々をどのように理解するのか 講師:当事者および管内関係機関	

**4 関係機関との連携**

**(1)精神緊急対応に係る連携会議の開催**

精神障害者の緊急の対応について、管内警察署・市町との連絡会議を開催しました。

**表8 平成27年度 精神緊急対応に係る連携会議**

月 日	内容	参加者数(人)
6月18日(木)	精神緊急対応に係る連携方法の検討	12

**(2)福井地域自殺予防対策協議会の開催**

平成22年度から、関係機関が相互に連携し、自殺予防対策にむけた情報交換や一般住民・関係者を対象とした普及啓発等、必要な取り組みを実施するために、福井地域自殺予防対策協議会を開催しています。

**表9 平成27年度 福井地域自殺予防対策協議会開催状況**

月 日	内容	参加者数(人)
2月23日(火)	次年度の方向性と取り組みについて	20

### (3) 地域精神保健福祉業務連絡会への参画

管内の精神保健福祉活動を総合的かつ効果的に推進するため、精神保健福祉の関係機関で構成する地域精神保健福祉業務連絡会を開催しています。

当センターも運営委員会、専門部会等に積極的に参画し、関係機関とともに精神障害についての普及啓発事業等を行い、精神障害者が住みやすい地域づくりを推進しています。

構成機関	}	医療機関、障害福祉サービス事業所、警察、
活動内容		社会福祉協議会、精神障害者家族会、ボランティアグループ、 労働関係機関、当センターを含む行政機関 36機関

- ① 運営委員会(1回) 年間計画、専門部会の提案、事業報告
- ② 全体会(1回) 年間計画と事業報告についての議事及び承認
- ③ 部会長会議(1回) 活動計画、各部会予算
- ④ 専門部会(20回) 普及啓発部会(8回)、思春期部会(5回)、  
居宅生活支援・医療観察部会(3回)、就労支援部会(4回)

## 5 自主グループへの支援

管内には、精神保健福祉ボランティアや家族会等があり、当センターは、会の運営に関する助言・協力等の実施により自主グループとしての活動を支援しています。

表10 平成27年度 自主グループ一覧

名称	開催状況	会員数(人)
精神保健ボランティア 「クレヨン」	定例学習会 月1回 役員会 随時	約 63
摂食障害者親の会 「バンビの会」	例会 月1回 研修会 年1回	約 75
精神障害者家族会 「あすわ会」	役員会 月1回 例会 月1回	約 45

# 16 母子保健

少子化、核家族化、女性の社会進出等、母と子をとりにくく環境は近年大きく変化しており、母子保健の面でも、それぞれの地域の特性に応じた対策の推進が必要となっています。

当センターは、広域的・専門的・技術的観点から市町を支援するとともに、長期療養児の訪問指導、医療給付事務、育児不安解消サポート事業などを実施しています。

## 1 小児慢性特定疾病医療費支給認定

小児期の難治性の疾患は、その治療期間が長期にわたり医療費の負担も高額となることから、治療の確立と普及を図り、併せて患児家族の医療費の負担軽減に資することを目的として、児童福祉法に基づき医療費の助成を行っています。

表1 小児慢性特定疾病医療費支給認定状況 (単位:人)

市町別 年度別	福井市	永平町寺	管内	福井県
26	238	11	249	719
27	245	17	262	716

## 2 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、医療保険が適用されず治療費が高額になる体外受精、または顕微授精の治療を受けた方にその治療費の一部を助成し、不妊治療を受ける機会を増やすことを目的として、平成16年4月1日から、「福井県特定不妊治療費助成事業」を実施しています。

平成26年度からは、男性側要因による不妊に対しても助成制度が拡大されています。

表2 特定不妊治療費助成件数(延べ)

回数別 年度別	1回目	2回目	3回目	4~6回目	合計	
管内	26	368	235	113	4	720
	27	372	237	121	21	751
福井県	27	767	460	238	35	1,500

表3 男性不妊治療費助成件数(延べ)

年度別		
管内	26	2
	27	4
福井県	27	6

### 3 育児不安解消サポート事業「こあら広場」

平成17年度から、強い育児不安や育児ストレスを抱える方に対し、定期的にグループカウンセリングを行うことによって、育児不安を解消し、安心して子育てが出来るように支援しています。

日時：毎月第4木曜日 午前9時30分～午前11時30分

対象：0歳から概ね就学前の子どもがいる保護者または妊婦で育児に不安やストレスを抱える方

内容：親と子に分かれてのグループワーク、個別相談

表4 育児不安解消サポート事業「こあら広場」の実施状況

年度別		開催回数	参加者延(実)数 (人)	
			保護者	子ども
管内	26	12	58(16)	57(16)
	27	12	63(20)	51(21)
福井県	27	83	315(181)	280(174)

### 4 フッ化物洗口事業

80歳時点で20本の自歯を残そうという8020(はちまるにいまる)運動が平成元年に提唱され、平成24年「歯科口腔保健の推進に関する法律」が施行されました。県では、平成23年度から保育園児および幼稚園児に対する「フッ化物洗口事業」を実施しています。平成27年度は、管内の47施設が取り組みました。

### 5 人工妊娠中絶状況

母体保護法の規定による人工妊娠中絶(妊娠満22週未満)が行われた場合は、人口動態の把握に資するため、日本産婦人科医会福井支部を通じて当センターに報告されます。

表5 人工妊娠中絶年次別状況(妊娠満22週未満)

年度別		年齢別							総数
		20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45歳以上(不詳含む)	
管内	26	52	120	117	115	125	62	5	596
	27	39	97	126	119	122	64	3	570
福井県	27	62	142	170	206	202	109	53	944

## 6 先天性代謝異常等検査事業

生後4～6日目に医療機関において先天性代謝異常等検査を実施し、検査の結果、精密検査を必要とする乳児について、受診を勧奨したり、保護者の相談に応じるなどの事後指導を実施しています。

表6 平成27年度 先天性代謝異常等検査事業

項目 市町別	出生数 (推計)	要精検数	精密検査結果		
			要治療	経過観察	異常なし
福井市	2,380	7	2	2	3
永平寺町	100	1	0	0	1
福井県	6,711	22(23*)	6	2	14

※要精検者のうち、1人は県外の見で、すでに自宅に戻っていたため、精密検査結果は未確認。

## 7 管内母子関係機関との連絡会

福井管内(福井市・永平寺町)において、養育力や育児環境、子の障害等により支援が必要と思われる妊婦・親子(以下、「気がかりな妊婦・親子」とする)が、関係機関から切れ目なく支援を受けることができ、地域で安心して生活することができるようになるためのシステムを構築するため管内の母子関係機関と連絡会を開催しています。

表7 平成27年度 連絡会開催実績

	内容
第1回 5月8日	・気がかりな妊婦・親子への支援に関する現状と課題および今後の取り組み ・意見交換
実態調査	・気がかりな妊婦・親子の支援・連携促進を目的に、連絡会構成機関で実施
第2回 10月19日	・調査票の内容および記入についての確認 ・気がかりな妊婦・親子への支援・連携調査について中間報告
第3回 2月23日	・調査結果について報告 ・各関係機関が考える気がかりな妊婦・親子について意見交換 ・効果的な連携の方法について意見交換

# 17 難病対策

## 1 特定医療費(指定難病)支給認定

難病は、原因が不明で治療方法が確立していない稀な疾病で、長期療養が必要と考えられています。

難病法(平成27年1月施行)に規定された306疾患を対象にした指定難病の患者に対し、特定医療費の支給のための事務手続きを行っています。

表1 特定医療費(指定難病)支給認定状況(実件数)

市町村別 年度別	福井市	永平寺町	管内	福井県
26	1,745	168	1,913	5,644
27	1,865	172	2,037	6,169

## 2 医療相談事業

患者等の療養上の不安解消を図るため、難病に関する専門の医師、看護師、社会福祉士等による医療相談班が相談事業を実施しています。

表2 平成27年度 医療相談事業実施状況

月 日	内容	参加者数(人)
8月25日(火)	口の中の健康 講師:福井県歯科衛生士会 岡本こず枝氏	5
10月15日(木)	パーキンソン病の治療について 講師:福井総合病院 松本倫子氏	57
11月4日(水)	負担の少ない介護法～起き上がり・移乗・移動～ 講師:有限会社ハートフルケア 藤波英司氏	12

## 3 訪問相談・指導事業

日常生活全般において介助を必要とする通院困難な難病患者および家族に対して、地域における在宅診療を促進することを目的としています。

要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上および療養上の悩みに対する相談や在宅療養に必要な医学的指導を行うため、難病に関する専門の医師、対象者の主治医、保健師、看護師、理学療法士等による、訪問相談・指導を実施しています。

## 4 難病対策地域協議会

地域における難病患者の入院から在宅療養までの一貫した地域ケアシステムの構築を図るために、病院や介護保険等の関係機関とともに支援検討会を開催しています。

表3 平成27年度 難病対策地域協議会開催状況

月 日	内 容	参加者数 (人)
2月10日	「災害時個別対応マニュアル」作成を通して変化したこと ～本人、家族、支援者自身、事業所内～ 災害時に活かせる平時の備え ～他の要援護者への活用～	25

## 5 難病患者災害時個別対応マニュアルの作成支援

人工呼吸器装着など医療ニーズの高い難病患者は、災害時に健康危機状況が発生されることが予想されます。そのため、在宅の難病患者、家族、支援に関わる者が災害発生時に適切な対応が出来るよう、平時からの備えを中心とした災害時個別対応マニュアル作成を支援しています。

管内には平成28年3月末現在、7名の対象者がおり、個別対応マニュアルの作成支援を行っています。

## 6 患者会への支援

2つの患者会の活動を支援しており、平成27年3月19日には、「福井パーキンソン友の会」が「全国パーキンソン友の会福井県支部」に発展しました。

表4 患者会一覧

(平成28年3月31日現在)

名称	設置年月日	正会員数(人)
全国パーキンソン友の会 福井県支部	H2.4.24	57
ハレバレ会(脊髄小脳変性症・多系統委縮症)	H6.3.13	32